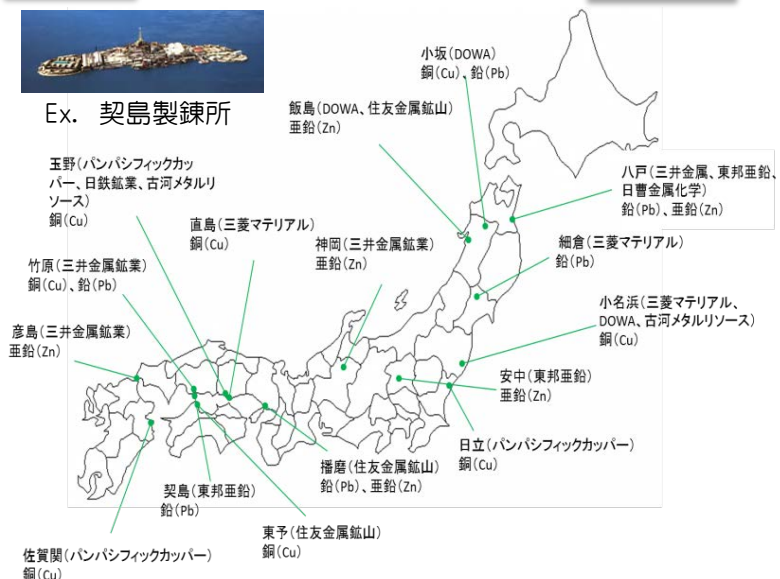
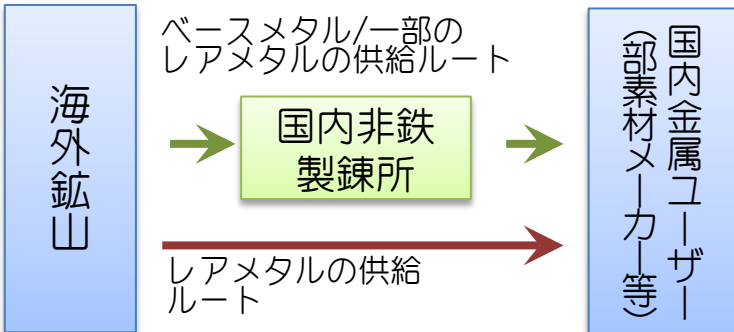


## 鉱物資源に関する現状認識

1. 鉱物資源は、我が国産業にとって競争力の源泉であるが、その供給の大半を海外に依存。
2. 需給構造、市場(需給や価格)動向は、個々の鉱種によって様々。ベースメタルは中国等新興国の需要増が世界需要を牽引。レアメタルはマーケットが小さく、相対的に需給・価格が不安定。
3. 我が国では、非鉄製錬事業者がベースメタル、一部のレアメタルの安定供給の重要な担い手。これまでの企業努力等により、一定の収益を上げているが、短期的、中長期的な課題への対応が必要。

### < 鉱物資源の供給構造の概観 >



### (1) 鉱種毎の実態を踏まえた戦略的な安定供給確保策の構築

① 鉱種毎に需給構造(サプライチェーン)を分析し、必要に応じた戦略的な安定供給確保策を構築

#### < 具体的方策 >

- 供給源の多角化(探鉱支援、ファイナンス支援、税制等)
- バーゲニングパワーの強化(共同買鉱等)
- 資源外交等による資源国との関係強化
- 供給途絶リスクが高い鉱種に対する、省資源・代替材料、リサイクル、備蓄等

② 資源ナショナリズムの先鋭化に対してWTO等の枠組を活用

③ 国内海洋鉱物資源開発への継続的な取組を進展

### (2) 鉱物資源の安定供給を担う非鉄製錬事業者の事業環境整備・

#### 経営基盤強化

- ① 鉱石品位の低下や精鉱中の不純物の増加、鉱物資源に係る規制の強化、電力コストの著しい増大、専門人材の不足といった足下の課題に対応
- ② 10年、20年先を見据え、非鉄製錬事業者の今後の経営基盤強化のあり方の検討に着手する必要